

5. 維持管理

(1) 情報の整理・統合

無秩序な標識やサインの乱立をさけ、可能な限り案内すべき情報を整理・統合します。

- ・サイン設置によって情報は豊かになりますが、無秩序なサインの乱立は景観を阻害するため、必要に応じて情報量を絞り込み、サインをできるだけ整理・統合する工夫が必要です。
- ・既存サイン等はコスト縮減の観点からも有効に利用することを基本とし、新規に設置するサインとの乱立を避けます。
- ・既存サインを更新する際には、サインを本計画の仕様に合わせ、サインの統一化を図っていきます。

1) 情報の更新

サイン設置後においても、利用者へ提供する情報の鮮度を維持するため、各媒体ごとの特性に合わせた情報の更新、連携を推進します(表 7)。

表 7 維持管理の観点からの各媒体の特徴

媒体	特 徴		
	情報の点検	更新の容易さ	更新の期間
サイン	各サインごとに現地にて点検を行う。	基盤ごと更新は、コスト、施工性が最も悪く、工事期間も長い。盤面のみ更新は比較的容易。	素材によって異なるが、支柱・フレームは概ね15年以上。盤面は、5～10年程度。
パンフレット	机上にて記載内容の点検を行う。	印刷、製本に関わるコストと時間がかかる。	概ね2～3年程度。
携帯電話	携帯電話にて各コンテンツの内容の点検を行う。	サーバー上の情報の修正・追加に関わるコストと時間がかかる。	少なくとも四季毎であるが、必要に応じて随時。

① サイン

サインの更新は、図 25 に示す流れにより、以下のように実施するものとします。

- サインは比較的時間の経過に左右されない情報を掲載するものとし、情報の更新については定期的なメンテナンスによる対応を基本とします。ただし、予定している更新の前でも、情報の変更等がある場合は、必要に応じて補助的なメンテナンスを行い、情報を更新します。

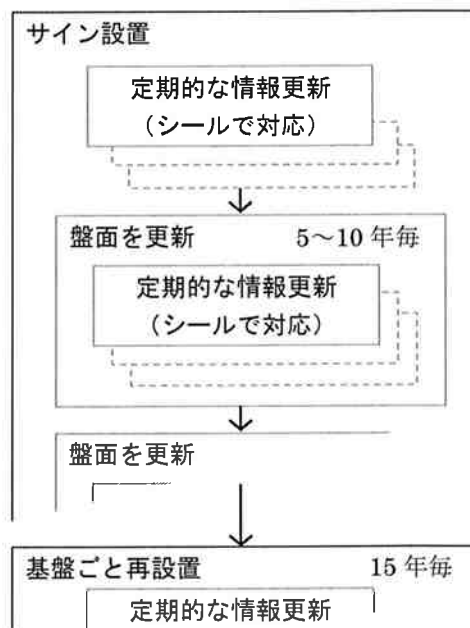


- サイン設置から5~10年毎(盤面の印刷の耐用年数程度)、もしくは、情報更新量が多くなりシートでの補修が目立つ場合には、盤面ごと更新するものとします。



- サイン設置からおおよそ15年毎(主要部材の耐用年数程度)には、基盤を含めたサイン全体を更新するものとします。

図 25 サインの更新の流れ



② パンフレット

- パンフレットは、印刷更新時に合わせて情報更新を図ることを基本とします。

③ 携帯電話

- 携帯電話の WEB サイトは、サインやパンフレットの情報を補足するリアルタイムな情報を掲載し、少なくとも四季毎(またはイベント情報等その都度対応)に情報を更新するものとします。

大田区観光案内サイン計画

平成 22 年 1 月発行

大田区産業経済部観光課

〒144-0035 東京都大田区南蒲田一丁目 20 番 20 号

TEL:3733-6190 FAX:3733-6136